

2015年4月3日

外務省 国際協力局 民間援助連携室長 殿

NGO 相談員による出張サービス実施報告書

(特活) 名古屋 NGO センター
理事長 西井 和裕

1. 企画名 : 国際協力に取り組む NGO 向け「スキーム活用研修」

【形態: 相談対応サービス・講演・セミナー・その他 ()】

2. 団体名・出張者氏名: 中部ブロック NGO 相談員協働による実施

(特活) アイキャン 井川定一 (3/22)

(特活) ムラのミライ 宮下和佳 (3/15)

(特活) 名古屋 NGO センター 門田一美 (3/15)

3. 催しの概況:

- ・主催: JICA 中部国際センター
- ・実施日: 2015年3月15日(日) 10:00~17:00、3月22日(日) 10:00~17:00
- ・場所: JICA 中部 なごや地球ひろば(名古屋市中村区)
- ・参加者: 中部地域に拠点を置く NGO13 団体
- ・概要: 中部地域の比較的小規模の NGO 団体からの、国際協力活動において活用できる助成金スキーム、申請の仕方、効果的な利用法などを知りたいというニーズに応えるため、JICA 中部が開催した研修である。研修では、ワークショップやレクチャーを通して、参加者が自団体に合ったスキームを見つけ、それらをうまく活用できるよう具体的な計画づくりをおこなった。NGO 相談員は、中部ブロック 3 団体協働にて、①ワークショップにおけるアドバイス②個別相談への対応③セミナー内での助成金 (ODA スキーム) 活用事例講演を行った。

4. 実施内容:

●主な相談内容は以下のとおり。相談対応件数: 合計 23 件

(1) 資金の獲得・各種スキームの活用について

- ・申請書の文章が整っていないと言われたが、具体的にどのように書けばわかりやすいかアドバイスが欲しい。
- ・活動の成果を具体的に書くというのは、どういうことか。例を示してほしい。
- ・自団体は有給専従職員がいない。手伝ってもらえそうな人はいるが、払える給料の当てがない。このような場合、どんなステップで助成金を活用していくといいのか。
- ・企業が行っている助成金の特徴について教えてほしい。
- ・ODA スキームの募集要項を読んでも、応募プロセスやポイントの記述が煩雑で、団体内で合意形成するために端的に説明することができない。いま応募を検討しているスキームのポイントについてアドバイスがほしい。
- ・外務省の NGO インターンプログラムへの申請を考えているが、どのように育成計画を整えればいいのか。また、採用されている団体の傾向やポイントなどがあれば教えてほしい。

(2) (1) 以外の団体運営全般について

- ・活動歴が長い団体であるが、広報、特に HP が整っていない。また、若者の参加が少ないので HP を強化して、若い人にたくさん活動を知ってほしい。HP を整えるには資金も必要なのでどうしたらよいか悩んでいる。
- ・なかなか若者の参加が得られず困っている。手伝ってくれるという人はいるが、その人にある程度の給料を払いながら来てほしいと思っている。どのように準備すればよいか。

●セミナー内での助成金（ODA スキーム）活用事例講演

- ・アイキャンから、例年 30 件以上の助成金・委託金を得ている経験を踏まえ、助成金の活用事例について講演を行った。地方では寄付等が容易に集まる状況ではないため、1) 助成金を取ることで、どのように組織の収入構造に影響を与えていくのか、そして、それは、2) どのように組織の方向性に変化を与えるのか、最後に 3) 組織を発展させるために、どのように助成金と経営戦略を結び付けていくべきか、という 3 点について、説明を行った。

5. 所感および効果：

愛知県のみならず、三重県、岐阜県、静岡県からも、新しく NGO を始めた方、長年続けつつも資金不足に悩んでいる NGO など 13 団体が研修に参加した。事務局機能を安定させたいが、有給職員を雇うにはまだ大きなステップが必要という層の団体が多く、小規模 NGO 共通の悩みが浮き上がってきている。NGO 支援スキームをうまく活用しながらステップアップするにはどうしたらよいか、セミナーや個別相談で対応することで、個別の状況に丁寧に対応することができた。

海外プロジェクトでのスキーム活用についてはムラのミライやアイキャンが、海外プロジェクトに限らないスキーム活用や資金獲得を含む団体運営の総合的な考え方については名古屋 NGO センターが主に対応するなど、それぞれの経験を活かして対応することができた。また、外務省民間援助連形室の今井氏に、ODA スキームを説明して頂き、JICA、外務省、NGO 相談員が効果的に連携し、実施することができた。

